

# 子牛育成飼料給与マニュアル

(去勢子牛)

		生 後 月 齢								
		生 時	1	2	3	4	5	6	7	8
1日当たり 給与飼料量 (kg)	餌付け飼料		0.2	1.0	2.8					
	育成用飼料					2.8	3.5	3.0	3.0	3.0
	良質粗飼料(乾草)		0.02	0.2	0.4	1	1.2	2.8	4.5	5
体高の目安 (cm)		72	79	85	91	96	101	105	109	113
体重の目安 (kg)		32	56	80	104	134	164	194	224	254

注：給与量は、原物重量で表示

(めす子牛)

2ヶ月離乳

		生 後 月 齢								
		生 時	1	2	3	4	5	6	7	8
1日当たり 給与飼料量 (kg)	餌付け飼料		0.2	1.0	2.2					
	育成用飼料					2.6	2.8	2.5	2.5	2.5
	良質粗飼料(乾草)		0.02	0.2	0.3	1.0	1.0	2.4	3.6	4.0
体高の目安 (cm)		69	77	84	90	95	100	104	108	111
体重の目安 (kg)		28	49	70	94	121	148	175	202	232

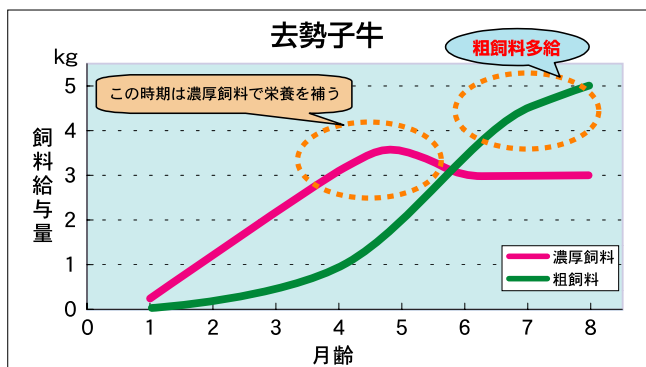
3ヶ月以降で、上記の標準給与量を全て摂取し、給与量を増やす場合は、**濃厚飼料：粗飼料**を右の割合で増加する

9：1  
の割合

**濃厚飼料：粗飼料**  
7：3の割合で増加

**濃厚飼料：粗飼料=4：6**  
の割合で増加させる

## 濃厚飼料と粗飼料の給与パターン



良好な発育を得るためには

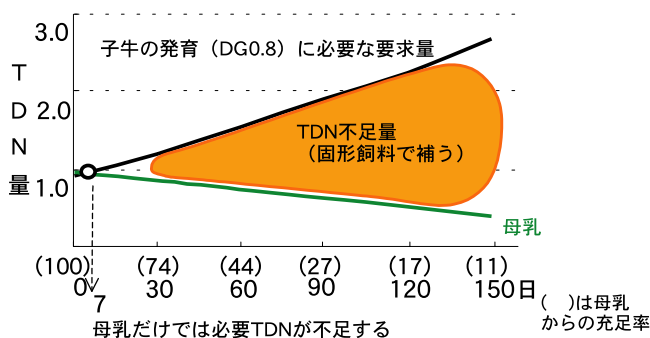
離乳から5ヶ月まで  
(粗飼料で必要養分量を充足できない時期)

濃厚飼料で栄養を補う

6ヶ月齢以降  
(粗飼料で必要養分量を充足できる時期)

粗飼料多給で栄養を補う

## 母乳と子牛の発育に必要な要求量との関係



母乳だけでは子牛の発育に必要な要求量は不足します

生後7日齢から餌付け飼料(哺育用飼料)を給与しましょう

早期離乳(2ヶ月離乳)することで、餌付け飼料の摂取量を増やし育成期にスムーズに移行できます

## 餌付け飼料の摂取量を増やすため、制限哺乳に取り組もう

- ・制限哺乳とは、1日の哺乳回数を数回に制限する方法です。
- ・哺乳が終了したら、別飼施設にて子牛を母牛から隔離します。
- ・制限哺乳を実施することで、餌付け飼料の摂取量が増加し、子牛の発育促進が期待されます。
- ・制限哺乳と早期離乳は、母牛の分娩間隔の短縮にも効果があります。

例) ・1日2回哺乳の場合  
・通常の哺乳時間は10~15分程度

